

きらめく光

- 日本とヨーロッパの点表現 -

主催：静岡県立美術館
 協力：静岡第一テレビ
 協賛：JR東海
 助成：(財)地域創造
 会期：平成15年(2003年)2月18日(火)～3月30日(日)

当館では、開館15周年を記念してポール・シニャックの点描画《サン＝トロペ、グリモーの古城》(1899年)を購入した。これを機に、「点」にまつわる多様な美術作品を紹介することとし、ヨーロッパの印象派のみならず、日本美術もあわせて、包括的な視野のもとに絵画における点の表現を巡る展覧会を企画した。

日本においては、江戸中期から中国の文人画が本格的に移入され、それにともない水墨山水画の点法が多用されるようになった。池大雅、与謝蕪村らによる南画の流れは、以降、日本の絵画における点の表現の典型として受け継がれていった。

明治になると油彩画が西洋から受容され、特に印象派や新印象派の点描技法は、日本の多くの画家たちを魅了した。しかし彼らの「点」の表現は、単なる西洋

の模倣ではなく、伝統的な南画の技法との関連の中で探求されたと見ることもできる。大下藤次郎らの水彩画は水墨画との親近性を感じさせ、前田寛治のように富岡鉄斎に強い影響を受けた洋画家もいた。

現代美術では、多種多様な点表現が見られるが、ただ点を打つのではなく、点を生み出すものへの探求にも、豊かな表現が試みられている。また若手作家と一般参加者が共同で展覧作を作る試みなど、関連の普及事業にも力を尽くした。

(展示構成)

日本の文人画 気韻生動 - 大雅・蕪村などの点表現 -
 西洋の点描技法 19世紀から20世紀へ

近代絵画における点表現

- 点表現の移入、応用、そして再発見 -

現代美術 点 - そして消えていくもの -

関連事業

共同制作1 川田祐子ワークショップ「メモリアル・コラージュ あなたの思い出をください」

合計10回開催

平成14年9月1日(日)・8日(日)・15日(日・敬老の日)、10月20日(日) 実技室にて

10月22日(火) 伊東市立対島中学校にて

11月12日(火) 浜松市立佐鳴台中学校、川根町立笹間中学校にて

11月16日(土) 清水南高校にて

12月4日(水) 大須賀町公民館にて

共同制作2 大巻伸嗣ワークショップ「光をさがす」
 合計2回開催

平成15年1月25日(土)、26日(日)美術館実技室および美術館周辺にて

大巻伸嗣作品設置、アシスタント 2月15日(土)、16日(日) 美術館実技室、会場にて

講演会 中谷伸生氏(関西大学教授)「東西の点描 - 大雅・スーラなど」 2月23日(日) 講堂にて

フロアー・レクチャー(当館学芸員による解説会)
 3月8日(土) 会場にて

ギャラリートーク(出展作家・高橋洋子氏による解説会)
 3月9日(日) 会場にて

鑑賞講座 小針由紀隆(当館学芸課長)「ヨーロッパの点描表現 - シニャックの場合 -」 3月16日(日)

講座室にて

春季自由工房「ミ・マ しょう!(ミクロ・マクロ、みましょう)」(出展作家・川田祐子氏による鑑



ポスター

賞会と簡単なワークショップ) 合計6回開催 3月21日(金・祝)、22日(土)、23日(日) 美術館実技室、会場にて
 当館ボランティアによるギャラリートーク 合計18回開催

カタログ

A4版変形 (27.0×cm) 204p.

ごあいさつ 謝辞 目次

エッセイ

点描の世界 / 吉岡健二郎 (当館館長)

点描の東西 - 大雅・スーラなど - / 中谷伸生 (関西大学教授)

日本文人画にみる点表現 - 池大雅を中心に / 飯田真 (当館学芸員)

調和の幻想 - 新印象主義の絵画について / 村上敬 (当館学芸員)

大下藤次郎《万年橋》における点表現の違いについて / 泰井良 (当館学芸員)

大正期日本画における点描 - 今村紫紅と小野竹喬を中心に / 森充代 (当館学芸員)

図版 章解説 作家・作品解説 出品リスト

記録集

“DOT/NET” (「きらめく光 - 日本とヨーロッパの点表現 -」展インスタレーション・教育普及事業記録集)

A4版 24p.

ごあいさつ 普及事業一覧 協力者 図版

エッセイ

展覧会ソナタ - 「きらめく光」展の共同制作と現代美術セクションの展示について - / 堀切正人 (当館学芸員)

息遣い / 高橋洋子 (出展作家)

自生成点 - 草間作品と因陀羅網をとおして / 川田祐子 (出展作家)

出品目録

A5版 8p.

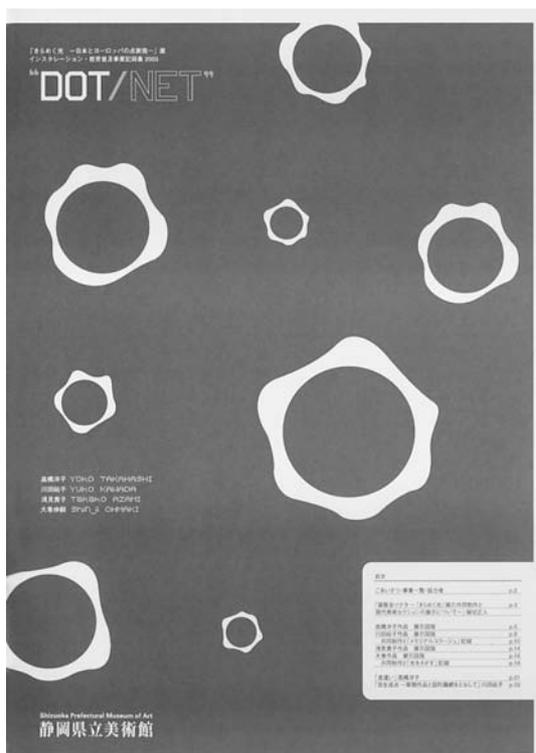
章解説 出品リスト

関連記事

新潟日報 (平成15年3月18日) 「きらめく光 - 日本とヨーロッパの点表現 - 雪国生まれの作者の原風景」



カタログ



記録集

朝日新聞 (平成15年3月20日) 「魅力の80余作、仮説交えつなぐ 点テーマに「きらめく光」展

読売新聞 (平成15年3月25日) 「きらめく光 - 日本とヨーロッパの点表現 - 絵画を活気づける“種子”」

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年 (西暦)	制作年 (和暦)	材質	形状	寸法	所蔵先
1	池大雅	倣王摩詰漁楽図 <重要文化財>	18世紀中頃	江戸時代 中期	紙本墨画	一幅	149.5×53.8	京都国立博物館
2	池大雅	龍山勝会・蘭亭曲水図 屏風<重要文化財>	1763	宝暦13年	紙本着色	六曲一双	各158.0×358.0	静岡県立美術館
3	池大雅	山中訪隠図	18世紀中頃	江戸時代 中期	紙本淡彩	四曲一隻	172.1×366.8	個人蔵(静岡県立 美術館寄託)
4	池大雅	沈香看花図・楓林停車 図屏風	18世紀中頃	江戸時代 中期	紙本着色	六曲一双	右120.9×256.4 左121.1×256.4	個人蔵
5	池大雅	青緑山水画帖	1763	宝暦13年	絹本着色	一帖・全 10図	各19.3×27.4	サントリー美術館
6	与謝蕪村	山水図	18世紀中頃	江戸時代 中期	絹本着色	一幅	113.4×134.1	京都国立博物館
7	与謝蕪村	山水図屏風	1782	天明2年	紙本着色	六曲一双	各151.5×337.4	個人蔵
8	与謝蕪村	溪山漁隠図	18世紀後半	江戸時代 中期	紙本淡彩	一幅	128.0×56.5	サントリー美術館
9	岡田米山人	高士遊歩図	18世紀末～ 19世紀初	江戸時代 後期	紙本墨画	一幅	159.9×45.3	静岡県立美術館
10	浦上玉堂	山澗読易図	19世紀初	江戸時代 後期	紙本墨画	一幅	168.1×92.4	岡山県立美術館
11	浦上玉堂	琴写澗泉図	1815	文化12年	紙本墨画淡彩	一幅	130.7×56.2	岡山県立美術館
12	浦上春琴	競秀争流図	1830	文政13年	絹本着色	一幅	55.6×121.0	静岡県立美術館
13	クロード・ モネ	ルーアンのセーヌ川	1872		油彩、 キャンヴァス		49.2×76.2	静岡県立美術館
14	カミーユ・ ピサロ	ポントワーズ、ライ麦 畑とマチュランの丘	1877		油彩、 キャンヴァス		60.3×73.7	静岡県立美術館
15	アルフレッド・ シスレー	森のはずれ、6月	1884		油彩、 キャンヴァス		66.0×73.0	サントリーミュー ジウム [天保山]
16	ポール・シ ニャック	サン＝トロペ、グリモー の古城	1899		油彩、 キャンヴァス		73.0×91.2	静岡県立美術館
17	ポール・シ ニャック	セーヌ風景	1931		油彩、 キャンヴァス		73.0×92.0	ひろしま美術館
18	ポール・シ ニャック	オーヴェルシーの運河	1906		油彩、 キャンヴァス		64.0×80.5	大原美術館
19	モーリス・ド・ グラマンク	小麦畑と赤い屋根の家	1905		油彩、 キャンヴァス		60.0×73.0	静岡県立美術館
20	アンドレ・ ドラン	コリウール港の小舟	1905		油彩、 キャンヴァス		64.0×65.0	大阪市立近代美術 館建設準備室
21	ルイ・ヴァ ルタ	海と岩壁と松	1906		油彩、 キャンヴァス		73.0×100.0	松岡美術館
22	アンリ・マ ルタン	断崖	1913		油彩、 キャンヴァス		96.0×66.0	松岡美術館
23	大下藤次郎	田子の浦	1902	明治35年	水彩、紙		31.5×48.0	静岡県立美術館
24	大下藤次郎	万年橋	1903	明治36年	水彩、紙		50.0×72.0	青梅市立美術館
25	大下藤次郎	波	1907	明治40年	水彩、紙		24.0×44.0	島根県芸術文化セ ンター建設室
26	大下藤次郎	多摩川畔	1907	明治40年	水彩、紙		48.8×69.7	島根県芸術文化セ ンター建設室
27	大下藤次郎	穂高山の残雪	制作年不詳		水彩、紙		22.2×33.2	島根県芸術文化セ ンター建設室
28	丸山晚霞	八ヶ岳	c.1909	明治42年	水彩、紙		67.0×101.0	長野県信濃美術館
29	丸山晚霞	山上の潤地	制作年不詳		水彩、紙		101.0×67.0	長野県信濃美術館
30	小杉未醒	窓辺佳人図	1918	大正7年	絹本着色	一幅	136.5×51.0	小杉放菴記念日光 美術館
31	小杉未醒	水荘訪客	1918	大正7年	絹本着色	一幅	157.2×70.6	小杉放菴記念日光 美術館

No.	作者名	作品名	制作年 (西暦)	制作年 (和暦)	材質	形状	寸法	所蔵先
32	小杉未醒	東照宮・陽明門と鼓楼	制作年不詳		水彩、紙		33.5×50.4	小杉放菴記念日光美術館
33	五百城文哉	東照宮・陽明門と神輿舎	制作年不詳		水彩、紙		51.2×34.5	小杉放菴記念日光美術館
34	黒田清輝	大磯風景	制作年不詳		油彩、板		24.1×32.5	府中市美術館
35	久米桂一郎	果園の春	1890	明治23年	油彩、板		23.5×32.3	府中市美術館
36	久米桂一郎	夏の夕(鎌倉)	1894	明治27年	油彩、 キャンヴァス		42.3×55.2	東京藝術大学大学美術館
37	中澤弘光	八坂の塔	1901	明治34年	水彩、紙		46.5×30.3	東京藝術大学大学美術館
38	中澤弘光	まひる	1910	明治43年	油彩、 キャンヴァス		196.0×114.0	東京国立近代美術館
39	青木繁	海	1904	明治37年	油彩、板		22.8×31.8	個人蔵(岐阜県美術館寄託)
40	青木繁	海景	1904	明治37年	油彩、板		23.2×32.9	府中市美術館
41	青木繁	海	1905	明治38年	油彩、 キャンヴァス		36.5×72.5	個人蔵
42	正宗得三郎	夕日の反映	1910	明治43年	油彩、 キャンヴァス		78.5×115.0	茅野市教育委員会(玉川小学校)
43	富岡鉄斎	妙義山図・瀨八丁図	1906	明治39年	絹本着色	六曲一双	各168.5×377.2	布施美術館
44	今村紫紅	箱根山・大井川	1912	明治45年・ 大正元年	絹本着色	双幅	各125.9×41.2	山種美術館
45	今村紫紅	宇津の山路	1912	明治45年	絹本着色	一幅	126.5×50.4	静岡県立美術館
46	今村紫紅	富士川	1915	大正4	絹本着色	一幅	125.0×41.0	山種美術館
47	小野竹喬	田家之春		明治末期	紙本着色	一幅	115.4×32.5	岡山県立美術館
48	小野竹喬	桃咲く頃	c.1915	大正4年頃	絹本着色	一幅	115.3×41.2	笠岡市立竹喬美術館
49	小野竹喬	瀬戸内の春	c.1916頃	大正5年頃	絹本着色	一幅	148.7×51.1	笠岡市立竹喬美術館
50	土田麦僊	梅ヶ畑村	1915	大正4年	絹本着色	一幅	146.0×51.0	和歌山県立近代美術館
51	富田溪仙	蘭亭曲水		大正初期 - 中期	絹本着色	二曲一双	各175.3×124.0	宮城県美術館
52	前田寛治	花と子供等	1921	大正10年	油彩、 キャンヴァス		80.5×117.2	鳥取県立博物館
53	前田寛治	ダリア	1921	大正10年	油彩、 キャンヴァス		60.8×50.2	個人蔵
54	前田寛治	新緑風景	1929	昭和4年	油彩、 キャンヴァス		91.9×116.7	兵庫県立美術館
55	萬鉄五郎	静物(壺と梨)	1904	明治37年	水彩・鉛筆、 紙		34.5×25.6	岩手県立美術館
56	萬鉄五郎	農家	c.1904	明治37年頃	水彩・鉛筆、 紙		34.4×25.4	岩手県立美術館
57	萬鉄五郎	風景(秋の小川)	1904	明治37年	水彩・鉛筆、 紙		34.5×25.6	岩手県立美術館
58	萬鉄五郎	点描風の自画像	c.1912	明治45年・ 大正元年	油彩、 キャンヴァス		61.0×45.9	岩手県立美術館
59	萬鉄五郎	日傘のひと	1922	大正11年	紙本墨画		67.6×68.3	岩手県立美術館
60	萬鉄五郎	わかれ道	c.1922	大正11年頃	紙本墨画		76.5×64.6	岩手県立美術館
61	山脇信徳	叡山の雪	1915	大正4年	油彩、 キャンヴァス		73.5×99.7	高知市教育委員会
62	山脇信徳	疎林	1917	大正6年	油彩、 キャンヴァス		56.7×110.0	高知市教育委員会

No.	作者名	作品名	制作年 (西暦)	制作年 (和暦)	材質	形状	寸法	所蔵先
63	斎藤豊作	残れる光	c.1910	明治43年頃	油彩、 キャンヴァス		65.2×80.3	さいかつ農業協同 組合
64	斎藤豊作	夕映の流	1913	大正2年	油彩、 キャンヴァス		65.3×161.0	東京国立近代美術 館
65	児島虎次郎	家族	1910	明治43年	油彩、 キャンヴァス		114.0×162.0	成羽町美術館
66	児島虎次郎	酒津の秋	1917	大正6年	油彩、 キャンヴァス		87.5×115.0	大原美術館
67	児島虎次郎	酒津の庭 (睡蓮)	c.1924-28	大正13年- 昭和3年頃	油彩、 キャンヴァス		81.0×65.0	静岡県立美術館
68	太田喜二郎	樹陰	1911	明治44年	油彩、 キャンヴァス		89.0×115.0	京都市美術館
69	太田喜二郎	帰り路 (樵婦帰路)	1913	大正2年	油彩、 キャンヴァス		122.0×115.0	静岡県立美術館
70	太田喜二郎	田植	1916	大正5年	油彩、 キャンヴァス		121.5×115.3	東京国立近代美術 館
71	長谷川利行	女	1932	昭和7年	油彩、 キャンヴァス		97.0×130.0	京都国立近代美術 館
72	岡鹿之助	積雪	1935	昭和10年	油彩、 キャンヴァス		80.5×100.0	ひろしま美術館
73	岡鹿之助	観測所	1951	昭和26年	油彩、 キャンヴァス		65.1×80.3	静岡県立美術館
74	岡鹿之助	献花	1958	昭和33年	油彩、 キャンヴァス		65.0×80.0	個人蔵 (静岡県立 美術館寄託)
75	岡鹿之助	礼拝堂	1970	昭和45年	油彩、 キャンヴァス		72.8×90.9	個人蔵 (静岡県立 美術館寄託)
76	牛島憲之	貝焼場 (午後)	1935	昭和10年	油彩、 キャンヴァス		145.9×97.4	府中市美術館
77	牛島憲之	田園風景	1944	昭和19年	油彩、 キャンヴァス		60.8×73.2	府中市美術館
78	牛島憲之	春温む	1981	昭和56年	油彩、 キャンヴァス		61.0×91.0	府中市美術館
79	牛島憲之	灯台のある島	1984	昭和59年	油彩、 キャンヴァス		91.0×72.7	府中市美術館
80	草間彌生	無題	1959	昭和34年	油彩、 キャンヴァス		232.5×359.0	静岡県立美術館
81	浅見貴子	精1999.4	2000	平成12年	墨・岩絵具・膠・ アクリルエマルジ ョン、雲肌麻紙		265.0×210.0	作家蔵
82	浅見貴子	Matsu 2	2002	平成14年	墨・胡粉・膠・ア クリルエマルジ ョン、雲肌麻紙		180.0×210.0	作家蔵 (練馬区立 美術館寄託)
83	高橋洋子	Sensitive chaos	2001	平成13年	水、光、アク リル、ステ ンレスほか		部屋の大きさ h450.0×330.0×650.0	作家蔵
84	高橋洋子	Water garden	2003	平成15年	水、光、アク リル、ステ ンレスほか		設置場所の大きさ h899.0×870.0×1300.0	作家蔵
85	川田祐子	BIO-MEMORY	2002-3	平成14-15 年	アクリルガッシュ・ 写真、チップボ ードパネル		20.0×20.0×4.2× 146点	作家蔵
		BIO-TEXT-L (1-6)	2000	平成12年	アクリルガッ シュ、麻張ボ ード		182.5×548.0	作家蔵
		BIO-TEXT	2000	平成12年	アクリルガッ シュ、ボード パネル		19.5×180.0×7点	作家蔵
86	大巻伸嗣	Opened Eyes-Closed Eyes -Colorfield-	2003	平成15年	ガラス、アク リル、スチ ールフレーム、 プラスチック ケースほか		部屋の大きさ h248.0×630.0×1468.8	作家蔵